

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	02	01	0401	森林保全啓発事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	5	森林の保全			
目的	森林保全の意識啓発					
対象	森林整備の関わりについて啓蒙普及を推進、実践したい市民					
意図	森林保全の意識啓発と森林保全活動の普及をする。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○森林作業体験の開催支援 高松地区赤松保全活動支援 豊沢川の森森林体験支援 修学旅行体験支援 ○木工教室、自然観察会の開催 木工体験教室（大博覧会・冬休み） 中山峠のブナ林観察						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	主催する各種イベントの開催回数	回	計画	4	2	2
			実績	4	2	
②	森林保全啓発活動等	回	計画	5	5	5
			実績	5	5	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	各種イベント総参加人数	人	目標	200	200	200
			実績	288	380	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 市民から好評を得ているイベントは継続して開催し普及啓発を図る。 H26年度はイベントを2件予定しており、参加規模を各100名としているため。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	森林の多面的機能の高度の発揮についての理解を深めていくための活動であり妥当。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	継続して事業を実施することで市民の自発的行動（実践）が期待できる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	森林に対する関心を深める事業として計画的に実施している。 また、地域活動、ボランティア活動への支援により、コスト抑制している。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	市民全体を対象とした事業である。（広報、チラシ等で広く市民に周知している）
総合評価 …上記評価結果の総括		
森林保全の啓発は、森林の持続的な経営と多面的機能の発揮には不可欠であり、これを市が主導で進める行事のほか、地域活動等への支援をすることで、より市民の自発的活動を促すことができた。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	06	02	01	0401	森林保全啓発事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		470	214		△ 256
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	470	214		△ 256

事業期間	○ 単年度繰返	■ 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	--------	-----------------

部経営方針における目標
森林の健全な育成を図り多面的機能を発揮させる。

事業開始の背景・経緯
森林の多面的機能への理解を深めることを目的に開始した。

事業概要

- 森林作業体験の開催支援
高松地区赤松保全活動支援
豊沢川の森森林体験支援
修学旅行体験支援
- 木工教室、自然観察会の開催
木工体験教室（大博覧会・冬休み）
中山峠のブナ林観察

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
森林の多面的機能を市民がしっかり認識するため、森とふれあうことなど森林に目を向けさせることが必要である。

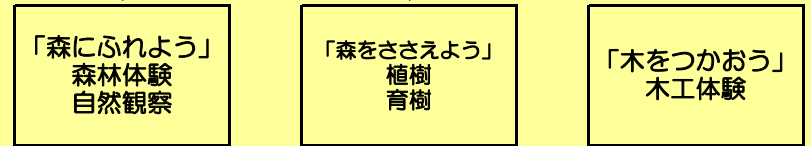
担当部署 部名 農林部 課名 農村林務課 担当係長 藤原和也 内線 6-277 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

森林のもつさまざまな役割「森のもつ8つのチカラ」(多面的機能)
生物多様保全機能／地球環境保全機能／土壌保全・土砂災害防止機能／水源涵養機能
快適環境形成機能／保健レクリエーション機能／文化教育機能／物質生産機能

この機能を最大限発揮させられるように、ひとりひとりがチカラをあわせていくことが必要です。

本事業では、多面的機能のさまざまな啓発を実施します。



地域活動、ボランティア活動の支援をはじめ、体験行事を中心に実施します。

予定するイベント等

地域活動、ボランティア活動支援

- ・高松地区の赤松保全活動支援
開催時期：11月 開催場所：平良木の立岩（花巻新八景）
参加：25名 内容：平良木の赤松の再生
- ・豊沢川の森森林体験
開催時期：9月20日 開催場所：野外活動センター跡地等
規模：250名 内容：植樹箇所の刈り払い等
- ・修学旅行森林体験支援

市が主催する行事

- ・木工体験教室（産業大博覧会）
開催時期：11月30日 開催場所：総合体育館
参加：親子22組 内容：親子木工体験
- ・木工体験教室（冬休み） 122千円（材料、保険料）
開催時期：1月10日 開催場所：まなび学園
参加：親子20組 内容：親子木工体験
※参加料徴収（20組×1,000円=20,000円）
- ・自然観察会 92千円（バス、仮設トイレ）
開催時期：10月29日 開催場所：大空滝～中山峠のブナ林
参加：23名 内容：ガイドによる自然観察（樹木等）